

CIM、i-Construction技術者育成を目的としたVRコンテンツ活用教育訓練プログラムの開発

(開発した訓練の特徴等)

「異業種経験を生かして土木業界で活躍できる！建設ICTマスター養成講座」

訓練の内容:

「導入編」では業界の課題と目指すべき人材像を明確化し、「基礎養成編」ではソフトウェア実習を含むIT活用の実技訓練、「応用編」では実務を想定しVRを活用したプロジェクト演習を実施。土木のIT化をふまえたスキルを効率的に習得できる構成とした。

訓練の対象となる業種・職種等:

- ・他分野から新たに土木建設業界へ参入したい社会人、土木建設業界を目指す学生
- ・土木建設業界従事者で、建設ICTの知見・スキルによるレベルアップを目指す技術者

(受講のメリット)

- ・土木建設業界で今後必須となる最新の「建設ICT」の考え方を学べる。
- ・他分野からの受講者でも、土木業界の概要や基礎知識、IT活用をふまえたビジネスモデル提案スキルを学べる
- ・計画立案から設計・施工、積算、維持管理まで一連のプロジェクトをファシリテートするスキルが習得できる。

建設 ICT マスター養成講座

土木建設のフロー全体を見渡し、ICT技術の活用によりファシリテーションやマネジメントが担える人材を目指す。

まちづくり・都市計画

- ・VRを活用したプレゼン技術
- ・ファシリテーションスキル

建設 ICT

- ・ソフトウェアやデバイス等 IT ツール活用技術
- ・情報データベースの処理、活用技術

土木・建設業界のビジネスの捉え方・考え方

(実施した時の環境等)

訓練の内容:

学習内容に応じて、教室・実地での座学・演習、オンライン会議システムによる講義、VRを活用したワークショップ・演習、レポート作成やソフトウェアによるモデリングなどの課題提出を実施。講座および課題用にCG・VR、土木設計、構造解析などのソフトウェアを多数貸し出して、実務に活かせるようにした。

募集期間 : 令和2年5月1日 ~ 令和2年6月1日

応募人数 : 20人 受講人数 : 66人

受講日時 : 令和2年6月10日 ~ 令和3年2月25日 受講料 : 無料

社会人受講生のための配慮:

複数のオンラインコミュニケーションツールを組み合わせることで遠隔による講座を実施し、場所や時間の制約に影響されないように配慮した。また、必修講座については土曜・休日および平日夕方に開催。併せて、開催時間に受講できない場合には、講義の録画配信の視聴と課題の提出により対応した。

区分 建設

(訓練を実施する上で注意する点)

本プログラムは、「異業種経験を生かして土木業界で活躍できる！建設ICTマスター養成講座」として開講しており、「導入編」では昨今の業界の課題と目指すべき人材像を明確化し、「基礎養成編」ではソフトウェア実習を含むIT活用の実技訓練、「応用編」では実務を想定しVRを活用したプロジェクトを設定しているという全体構成をふまえた上で、自身のレベルや目的に合わせ必要なパートを受講するとより効果的である。

また、土木・建設の分野は非常に多岐に渡るため、特に土木・建設業界以外の異業種から本プログラムを活用する場合は、オリエンテーションや導入編の概論は必須であり、これらを通して土木建設業界のビジネスの仕組みや現状、展望など、基礎的な知識とビジョンをまず十分に把握したうえで、実務的な「基礎養成編」や「応用編」に進むことで、より高い学習効果が得られると考えられる。



《応用編》の個別演習・総合演習では、講義、複数チームによるディスカッション、プレゼン演習などの実施に適したオンラインコミュニケーションツールを使用した。

(受講者等からの声)

「建設プロジェクトにおける、プレゼンにより意見を吸い上げる力、相手の立場に立って寄り添う力の必要性が実感できた」。「今後の社会で求められる必須のICTスキルについて学ぶことができた」。「VRデータの作成スキル、説得力のあるプレゼンテーション能力を身に付けることができる内容でよかった」(IT関連企業)。「この講座で学習したことを、専門的な技術・スキルが不足している技術者への研修に役立てたい」。「演習を通して、他業種も含め様々な考え方や意見交換ができ非常に勉強になった」(建設コンサルタント)。

(受託事業者) **株式会社 フォーラムエイト**

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#construction
 厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03 - 5253 - 1111(内線5648)